

平成19年4月5日  
総務局

## 平成12年(2000年)三宅島噴火災害誌の発刊について

平成12年の三宅島噴火災害では、全島避難により三千余人の島民が4年5ヶ月に及ぶ長期間の避難生活を強いられました。平成17年2月1日に三宅村長が避難指示を解除し、島民の帰島が実現しました。その後2年が経過し、三宅村は復興に向けて着実に前進しています。

東京都では、三宅島噴火災害で得た教訓を時の経過とともに風化させることなく、今後の災害対策に活かすため、各行政・防災機関の協力を得て、三宅島噴火災害誌として取りまとめましたので、お知らせいたします。

問い合わせ先  
総務局総合防災部防災管理課  
TEL 03-5388-2485

# 平成12年(2000年)三宅島噴火災害誌の概要

## 1 作成の目的

三宅島噴火災害時の行政・防災機関等の災害対応及び生活支援を取りまとめ、今後の災害対策に活かす。

## 2 三宅島噴火災害の経緯

- H12. 6. 26 臨時火山情報
- 6. 27 東京都災害対策本部設置
- 8. 18 最大規模の噴火
- 8. 29 低温の火砕流発生・東京都災害対策本部再設置
- 9. 2 全島民避難指示(三宅村)
- H16. 7. 21 東京都帰島支援対策本部設置
- H17. 2. 1 避難指示解除(三宅村)・帰島第一陣出発式
- 3. 31 東京都災害対策本部廃止
- H18. 3. 31 東京都帰島支援対策本部廃止



H12. 8. 18 最大規模の噴火

## 3 特徴

- (1) 全島避難から帰島に至るまでの4年5ヶ月にわたる災害対応と生活支援について取りまとめた。
- (2) 警視庁、東京消防庁及び自衛隊等防災関係機関の活動のほか、郵便局やライフライン関係機関の活動についても記述した。
- (3) 都及び主な防災関係機関が三宅島噴火災害から得た教訓を取りまとめた。

## 4 構成

本災害誌は全9章から構成されており、主な内容は次のとおり。

巻頭 三宅島噴火災害誌の発刊にあたって(知事あいさつ)

- 第1章 噴火災害 ○ 三宅島噴火の特色、都等の体制
- 第2章 緊急火山情報から全島避難 ○ 全島避難から避難先における生活支援
- 第3章 災害復旧 ○ 三宅島の災害復旧(道路・砂防ダム等)
- 第4章 帰島に向けて ○ 火山ガスに対する安全確保と生活環境の整備
- 第5章 帰島、そして島の再生に向けて ○ 帰島後の生活と復興対策
- 第6章 都議会の取組 ○ 都議会の活動
- 第7章 国の動き ○ 主な支援活動
- 第8章 全国からの支援 ○ 自治体間の協力、義援金、ボランティア
- 第9章 教訓 ○ 都・防災関係機関が災害対応から得た教訓

巻末 「噴火災害に携わって」